

平成25年度 第5回理事会 議事録

日 時 平成26年3月15日(土) 13時30分～15時15分

場 所 北海きたえーる2階中研修室

出席者 近藤龍夫、嶋倉 昭、高橋賢治、紺屋正雄、渋谷研一
大江憲一、黒田謙二、須田正毅、田中昌幸、杉木 恵
印藤智一、櫻庭功一、碓井喜晴、奥山 諭(代理)
川村俊明、高坂 猛、山田伸二、西谷光司、西谷清之
関原榮司、山内孝夫、中川裕行、奈良孝伸、菊池 徹
武田和夫、鈴木佳次、大橋公德

1 開 会

※総務委員長から理事総数31名中24名が出席し、理事会は成立することが報告される。

2 会長あいさつ(近藤会長)

東日本大震災から3年が経過したが復興はまだまだの感、一日も早い復興を願う。

今年度はワールドグランプリファイナル大会を成功裏に終わることができ、あとは来週のプレミアリーグ男子芦別大会の成功を祈っている。

今日の理事会では、平成25年度の事業決算は5月の評議員会に提案するため、新年度の事業計画と予算について審議いただくが、平成26年度は北海道のバレーボールが変わる一年としていきたいのでよろしく願います。

3 協議事項

※会長が議長となり会議を進行する。

(1) 議事録署名人の選出について

・近藤会長のほか2名については、大橋理事・碓井理事に決定する。

(2) 平成26年度協会運営の基本方針(案)について

・理事長が基本方針について説明する。

<質疑等>

○再興元年としての各委員会のテーマは何か。大学生との連携を特にもってほしい。

⇒ゴールドプランの関連事業を先日、日高管内で開催し200名が参加した。こうした例を参考にさらに強化したい。

また、東海大学札幌校舎が昨年成果を残しており、今後とも裾野を広げる取り組みを工夫したい。

○人口減少社会であり高齢化が進む中で道協会としてどうしていくのか。小さくてもよいので具体的に誰が何をやるのかなど、一つひとつ取り組みを明確化してほしい。

○暴力根絶では具体的に何をやるのか。各学校に言っているが研修会等を開くなど必要ではないのか。

○各委員会では去年と何かしらプラスワンがあるのか。競技の大会参加チーム増の具体策は

何か。強化費を削るのではなくて、使っていく事はどうだったのか。毎年、同じ内容に見える。

⇒次年度以降、具体的でわかりやすい形にしたい。また、表現がつかない部分は今後十分検討したい。

○基本方針の5項目について、委員会ごとに重複してもよいので整理をしてほしい。

⇒5月理事会には明確化したい。

※運営の基本方針（案）は原案のとおり決定される。

(3) 平成26年度事業計画（案）について

・各委員会から次のとおり説明がある。

① 総務委員会

- ・財源確保策の検討、助成費等の検討、加盟団体別に意見交換を進める。
- ・メディアなどとの連携を図るため意見交換会を実施する。

② 競技委員会

- ・若手競技委員の早期育成と、加盟団体に人材発掘の協力依頼する。
- ・大会参加チーム増を図る。また、競技会の見直し作業を順次行う。
- ・新しい競技会実施と9人制普及活動の推進に努める。
- ・平成27年度全日本クラブカップ女子選手権大会の開催地は札幌協会にお願いしている。

③ 審判委員会

- ・審判技術のレベル向上と審判・技術統計それぞれの部門に携わる人材の発掘・養成を加盟団体と共に推進する。
- ・加盟団体審判講習会、B級資格取得審査講習会は強化育成基金を活用し事業実施する。

④ 強化委員会

- ・ジュニア選手を中心とした強化を最重点とし、各カテゴリーの北海道選抜チームの全国大会上位進出。大学・社会人チームの活性化とあわせてトップチームの指導者育成と資質向上を推進する。
- ・国体少年強化事業は、強化育成基金を活用し3期目に取り組む。

⑤ 指導普及委員会

- ・小学生男子チームの育成普及及び指導者の養成と小学生の競技者増加に努める
- ・ジュニアキャンプの質的向上に努める。

<質疑等>

○特になし。

※平成26年度事業計画（案）は原案のとおり決定される。

(4) 平成26年度一般会計予算（案）について

(5) 平成26年度大会費（案）について

(6) 平成26年度特別会計予算（案）について

・(4)から(6)について総務委員長から一括説明する。

<質疑等>

○特別予算の期とは何か。

⇒各事業の第1期3年目と捉えてほしい。

※平成 26 年度一般会計予算（案）、平成 26 年度大会費（案）及び平成 26 年度特別会計予算（案）は原案のとおり決定される。

（7）平成 26 年度評議員会の開催日程について

- ・総務委員長から日程等案を説明する。

<質疑等>

○特になし。

※原案のとおり評議員会は、日時が平成 26 年 5 月 31 日（土）15 時～、会場が道立総合体育センター 2 階中研修室で決定する。

（8）役員等選考委員会委員の選任について

- ・総務委員長から、委員 5 名のうち近藤会長及び渋谷理事長は固定であるが外 3 名については、理事会での決定事項であることを説明し、了承を得て評議員代表が阿部議長、監事代表が川村監事、常任理事代表が黒田副理事長を提案する。

<質疑等>

○特になし。

※原案のとおり決定される。

（9）新規大会の実施について

- ・黒田副理事長から新規大会について説明する。

① 新たな 6 人制大会について

- ・北海道のバレーボールの普及と競技者の増加を図ることを目的に、南・北に分けて開催し、参加チームは北海道協会登録チームを基本とし、クラブ・実業団・大学連盟のみに登録するチームも参加を認める。
- ・参加料は、北海道協会登録チームが 3,000 円、未登録チームが 6,000 円とする。

② 新たな 9 人制大会について

- ・北海道のバレーボールの普及と競技者の増加を図ることを目的に開催し、開催は道央地区協会とし、参加チームは北海道協会登録チームを基本とし、クラブ・実業団・大学連盟のみに登録するチームも参加を認める。
- ・参加料は、北海道協会登録チームが 3,000 円、未登録チームが 6,000 円とする。

<質疑等>

○道協会登録とは何か。大会の開催については問題ないが、クラブチームの減少によりクラブ選手権を中止した代替大会として開催するのか。底辺が広がり、MRS 登録が増えるのか。

⇒再興元年の事業として登録への情報提供をするなど、MRS 登録も減らないように努力する。

○大会参加料の値上げ問題がある中で参加料が 3000 円、6000 円とすることは足の引っ張り合いにならないか。

○かって野球では、たそがれ野球や朝野球などで盛り上がっていた。いろんなことをやってみようとの大会の趣旨は良い。何でも 100 点満点にはならないが是非やってみてほしい。

○以前、道協会内で賞金大会をやろうという考えもあった。バレーボール愛好者はみんな集まろうの考えで行けば良いのではないか。

⇒新大会が承認されれば直ちに準備に取り掛かるが、参加料が低廉のため開催経費に足が出るようなことになれば基金を活用することもご理解いただきたい。

また、大会に多くのチームに参加していただき MRS 登録も増やしていきたい。

体育館使用料の安い地区で出来ればいいと思う。

○チームは必ずどこかの連盟に登録していなければ参加できないのか。

⇒そのように考えている。

※新規大会の実施については、原案のとおり決定される。

4 報告事項

(1) 日本協会関係

- ・岩手県にオガールというバレーボール専用体育館のある合宿所が造られた。
- ・芦別 V プレミア男子大会への観戦を願う。

(2) 各委員会ほか

①総務委員会

- ・理事・評議員候補者の変更がある加盟団体は新たな候補者の推薦を願う。
- ・ヤングバレー連盟が加盟団体となったことから、平成27年度の役員改選に向けて定数改正のための規約改正案を5月評議員会に提案する予定である。

②競技委員会

○全国競技委員長会議の結果について

- ・クラブ・実業団大会の全国大会参加料が20,000円から25,000円となる。
- ・高校生はビーチ、ヤングにも登録可能になる。
- ・小連の大会に男女混合の部が設けられた。
- ・大会会場での危機管理のため、停電等による全電力停止に備えハンドマイクなどを準備することになった。
- ・大会要項から「カラーボール」の記載を外す
- ・ネットの補助ロープは、上から9人制で3,3,4、6人制で4,3,3に統一された。

5 その他

○倫理の問題で、道教委の処分が出ているが、当事者は仮名で競技種目名も出ない場合、道協会ではどう対応するのか。また処分の決定は理事会であるが、当事者はその間、どのようになるのか。

⇒道協会としては、加盟団体等からの情報などをもとに対応してきている現状であり、全ての事案について把握できない。

また、道協会が処分を決定する場合は理事会であり、決定するまでの間は処分保留となる。


○男子ナショナルチーム前監督の評価はどうだったのか。新監督は公募も生かしながらそうでないケースもあるということでの決定と聞いているが実態がわかれば教えてほしい。

⇒経過等については把握していない状況です。


6 閉会

【次回理事会日程：5月31日（土）13時～北海きたえーる】

議事録署名人 会長

近藤龍夫 

議事録署名人

大橋公徳 

議事録署名人

雄井喜晴 
